



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	19,510	11.7	392		216		173	
2020年3月期第3四半期	22,090	3.0	397	6.3	406	8.0	266	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 67百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 357百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	29.34	
2020年3月期第3四半期	45.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,086	19,453	49.8
2020年3月期	39,418	19,639	49.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,453百万円 2020年3月期 19,639百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,700	11.8	230		100		90		15.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	5,912,999 株	2020年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,560 株	2020年3月期	1,181 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,911,588 株	2020年3月期3Q	5,911,979 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大による景気の低迷を受け、各国で景気刺激策が実施されるものの、厳しい状況が継続しました。同様に、日本国内においても、経済活動が大きく制限され、厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社では徹底したコスト削減による業績維持に努めたものの、販売環境の急速な悪化に加え、コスト面でも資材価格や運送費等の値上がりを受け、一段と厳しい環境となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,510百万円と前年同期に比べ2,579百万円の減収となり、営業損失、経常損失はそれぞれ392百万円（前年同期は397百万円の利益）、216百万円（前年同期は406百万円の利益）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純損失は173百万円（前年同期は266百万円の利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（P C関連製品）公共事業関連では新設橋梁は減少し、P C鋼材の使用量の少ない補修・補強案件が増加しているため、厳しい状況が継続し、販売数量は前年同期に比べて減少しました。民間事業関連では、前年度に手掛けたプロジェクト案件や自然災害による緊急応援対応の終了、新型コロナウイルス感染拡大による工事遅れ等により、販売数量は前年同期に比べ大幅に減少しました。P C関連製品全体としては、販売数量・売上高ともに前年同期に比べ減少しました。

（ばね・特殊線関連製品）自動車向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）およびステンレス鋼線は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各国の景気刺激策によって自動車生産台数が回復したことで、需要回復の傾向にあるものの、前年同期比での販売数量は、依然として大幅な減少となり、ばね・特殊線関連製品全体としても、販売数量・売上高ともに前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は10,758百万円と前年同期に比べ1,401百万円の減収となり、セグメント損失は103百万円（前年同期は514百万円の利益）となりました。

<鋼索関連事業>

新型コロナウイルス感染拡大により、国内の土木・建設向けや国内外のエレベーター、クレーン等の機械分野向けの販売数量が前年同期に比べ減少したため、売上高は7,656百万円と前年同期に比べ1,074百万円の減収となり、セグメント損失は227百万円（前年同期は37百万円の利益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

交通・施設分野向け製品は堅調に推移したものの、土木・橋梁分野向け製品および建築分野向け製品において新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事延期が発生し、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,045百万円と前年同期に比べ103百万円の減収となり、セグメント損失は100百万円（前年同期は194百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、セグメント利益はそれぞれ49百万円、39百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、332百万円減少の39,086百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金の減少、電子記録債権の増加によるものです。

負債は、146百万円減少の19,633百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少によるものです。

純資産は、186百万円減少の19,453百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は49.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年11月5日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,986	3,136
受取手形及び売掛金	5,507	3,914
電子記録債権	3,018	4,033
商品及び製品	4,071	4,159
仕掛品	3,096	3,064
原材料及び貯蔵品	1,573	1,572
その他	644	620
流動資産合計	20,898	20,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,967	2,969
機械装置及び運搬具（純額）	5,325	5,135
工具、器具及び備品（純額）	120	132
土地	5,774	5,774
リース資産（純額）	10	8
建設仮勘定	85	135
有形固定資産合計	14,283	14,154
無形固定資産	237	187
投資その他の資産		
投資有価証券	1,444	1,626
退職給付に係る資産	1,073	1,121
繰延税金資産	1,310	1,333
その他	200	191
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	3,999	4,242
固定資産合計	18,520	18,584
資産合計	39,418	39,086

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,539	2,088
短期借入金	5,642	5,244
リース債務	3	3
1年内償還予定の社債	215	572
未払費用	933	932
未払法人税等	333	38
賞与引当金	592	207
設備関係支払手形	12	50
その他	654	754
流動負債合計	10,926	9,892
固定負債		
社債	1,622	1,050
長期借入金	2,418	3,671
リース債務	9	6
役員退職慰労引当金	7	6
環境対策引当金	99	84
退職給付に係る負債	4,594	4,818
その他	101	102
固定負債合計	8,852	9,740
負債合計	19,779	19,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,171	8,171
利益剰余金	2,982	2,690
自己株式	△1	△2
株主資本合計	19,215	18,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210	309
為替換算調整勘定	136	139
退職給付に係る調整累計額	77	80
その他の包括利益累計額合計	424	530
純資産合計	19,639	19,453
負債純資産合計	39,418	39,086

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	22,090	19,510
売上原価	18,124	16,652
売上総利益	3,965	2,857
販売費及び一般管理費	3,568	3,249
営業利益又は営業損失(△)	397	△392
営業外収益		
受取利息	40	32
受取配当金	37	33
持分法による投資利益	—	31
固定資産賃貸料	31	31
受取保険金	40	—
雇用調整助成金	—	171
その他	14	17
営業外収益合計	163	317
営業外費用		
支払利息	35	40
持分法による投資損失	2	—
出向者負担金	52	43
固定資産廃棄損	4	4
その他	59	53
営業外費用合計	154	142
経常利益又は経常損失(△)	406	△216
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	406	△216
法人税、住民税及び事業税	42	25
法人税等調整額	97	△68
法人税等合計	140	△43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	266	△173
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	266	△173

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	266	△173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	99
為替換算調整勘定	△2	△0
退職給付に係る調整額	△12	3
持分法適用会社に対する持分相当額	24	3
その他の包括利益合計	90	105
四半期包括利益	357	△67
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357	△67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,159	8,731	1,149	22,040	49	22,090	—	22,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	337	147	2	486	—	486	△486	—
計	12,497	8,878	1,151	22,527	49	22,577	△486	22,090
セグメント損益	514	37	△194	358	38	397	—	397

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,758	7,656	1,045	19,460	49	19,510	—	19,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	254	119	1	375	—	375	△375	—
計	11,013	7,775	1,046	19,835	49	19,885	△375	19,510
セグメント損益	△103	△227	△100	△431	39	△392	—	△392

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。